

26. 5.13
たくさん捕れたよ
児童らノボリコ漁体験

日 南

日南市の伝統的漁法であるノボリコ漁を体験する講座が10日、酒谷川が流れる同市の東光寺橋下流の河川敷であった。宮崎、日南市などから子どもや家族ら約50人が参加し、昔ながらの漁に触れたり、川遊びをしたりして楽しんだ。

県総合博物館が主催。ノボリコは、ボウスハセやゴクラクハゼの稚魚。春先に河口付近でふ化して遡上（そじょう）し、県内では同市だけで漁が行われている。講座は、伝統的漁具による川での漁体験や自然環境について子どもたちに学んでもらおうと10年ほど前から毎年開催している。

同日は、同市のノボリコ漁保存会的那須義春代表(89)と

太田祐光さん(77)が指導。浅瀬に石を並べた幅1・5メートルの魚道を確保し、参加者らと一



大勢の家族連れでにぎわったノボリコ漁講座

緒にその上に網を敷き、重しとなる石を乗せて仕掛けを完成させた。

仕掛けを引き上げるまでの間、子どもたちは、川に生息するエビや水生昆虫を網ですくって、同館の学芸員に名前などを聞いて観察。引き上げ時には、参加者全員が網の周りに集合し、たくさん捕れたノボリコなどを興味深げに見入っていた。

家族5人で参加した日南市、大王谷小6年の甲斐健人君(11)は「珍しい魚などを見られて本当に良かった」と笑顔を見せていた。

初夏の風物詩

2014.4.22

ノボリコ漁始まる 日南・酒谷川



仕掛けた網を引き揚げる太田さん

日南市の風物詩であるノボリコ漁が、同市の酒谷川で始まった。昔ながらの方法で、川に網を仕掛け、じつと魚が入るのを待つ伝統漁法。6月いっぱいごろまで続く。

ノボリコとはゴクラクハゼやボウスハゼの稚魚で、体長3センチほど。春先に河口付近でふ化し、上

げ潮に乗って遡上（そじ）と同市の広渡川のみで行う。仕掛けは、岸辺に石で1・5メートルの魚道をつくり、網戸用の網を隙間ができないように敷く。そこに、重しを置いて完成。早朝に仕掛け、夕方に回収。昼間はサギやカラスが網を夕方引き揚げると、ノボリコが元気づく網の中

に仕掛け、夕方に回収。昼間はサギやカラスが網を夕方引き揚げると、ノボリコが元気づく網の中

に仕掛け、夕方に回収。昼間はサギやカラスが網を夕方引き揚げると、ノボリコが元気づく網の中

に仕掛け、夕方に回収。昼間はサギやカラスが網を夕方引き揚げると、ノボリコが元気づく網の中



酒谷川で捕れたノボリコ

ボリコは知人にあげるほか、かき揚げや卵とし、すまし汁などにして食べるといふ。

今年、晴れて水温が上がった前日に、この時期には珍しく5センチほどの収穫も記録。太田さんは「ノボリコが網に入っていくのが岸から見るとどどど。期待が持てる」と手応えを感じて

日南・串間